

蒲田 東特別出張所管内			★発行 地域力推進 蒲田東地区委員会
人 口	男 23,423名		★編集 地域情報紙「かまた東」 編集委員会
	女 21,908名		★事務局 蒲田東特別出張所 蒲田本町2-1-1 TEL (5713)2001
	計 45,331名		
世帯数	28,737世帯		
令和3年12月1日現在			

コロナ禍の中学生の今! ～国際交流員との対話～

皆様には2022年が幸多き年でありますようにお祈り致します。振り返りましたら2021年の悪夢の様な年を多感な時期で迎える、中学生達がどの様に過ごしたのだろうと思いが走り出しました。地域情報誌は2021年10月、11月と蒲田東地区にある中学校、東蒲中学校・蒲田中学校の生徒会の皆様に取材をさせていただきました。本誌「蒲田東ぶらり名所めぐり」でもご存じの大田区国際交流員のベサニー・カミングスさんにも同席させていただきました。

■1. オンライン授業で良かったこと悪かったこと

両校とも対面授業が基本なので、オンライン授業を受けた生徒は少ないようです。受けた友人の体験によるとメリットは学校を休んだ時ノートを取れたので授業の遅れを取り戻せた、遅刻の心配がなかった。デメリットは環境により音声聞き取れなかった、休み時間中でもオンラインに接続していなければならない、周りの友達と話せないということでした。

■2. 運動会や修学旅行等イベントが制限されたこと

令和3年度の運動会・修学旅行・移動教室等は縮小されながらもできたようです。ここには先生方の熱い気持ちが伺えました。東蒲中の「かしわ祭」では合唱する学級のみが体育館、聞く方はオンラインで教室で聞いたそうです。蒲田中では体育館にて全校生徒が参加した合唱発表会、文化部の発表が行われました。2年生は実際の職場での仕事体験があるのですが、今年度は体験先の会社の方が学校に見えて指導されたそうです。

■3. コロナ対策のルールを守らない大人について

三密を守らないマスクをしない大人たちを見ていると不安になってくる、いやだなと思う、不満が出てくる、ずるいと思う、電車の中でも見かけると不安になるし、外飲みは止めてほしい等の声の一方で、疲れているのかな、



東蒲中学校の生徒さん



我慢できないのかなと心配する声もありました。また、コロナは個人の問題ではなく世界中の課題なのでルールを守ってほしいというしっかりした意見もありました。

■4. コロナ後も続けた方が良くと思うこと

アルコール消毒・マスク・手洗い等は残していきたい習慣です。給食の時、正面を向きながら食べることは衛生的に良いので続けて行きたい。オンライン授業はインフルエンザ等で学級閉鎖の時など助かるという声がありました。ジャージ登校は朝の着替えが楽だし、体育の授業にそのまま出られるので残してほしいそうです。

■5. ベサニーさんへの質問

イギリスのウェールズにいるご家族のコロナ禍の生活について話していただきました。小学生の弟さんはロックダウン中には授業が無く、学校がオンラインにアップした宿題をパソコンで解いて提出したそうです。その後は遊べたのでその点は良かったようですが、学校行事は全部中止になったそうです。お母様は専門学校の講師をされており車で2時間の通勤だそうですが、ロックダウンで職場の授業がオンラインに変わりました。家に居られた事で子供たちとのふれあいが密になり逆に良かった



蒲田中学校の生徒さん



と喜ばれたそうです。ロックダウン解除後のオンライン授業は受講者にも便利なので続いているそうです。

以下は東蒲中・蒲田中の生徒さんからの質問です。

◆マスクの習慣は：イギリスではマスクの習慣は無いので抵抗はありましたが、今はしてます。◆イギリスと日本での感染対策は違いますか：あまり変わらないと思います。◆日本語は難しかったのでは：特にそうは思いませんでした。ドイツ語やフランス語の方が難しく感じました。◆日本に来て困ったことは：アパートを探すときに外国人を理由に断られたことがあります。

このように生徒さんたちは様々な制限や変化の中でもしっかりと考え判断して、学校生活を過ごしていたようです。今回の取材にご協力いただいた両校の生徒会の皆様ありがとうございました。

地域情報紙編集委員長 山崎 礼子



散歩ならぬ散文(雑文)

蒲田三丁目町会

渡部 伍郎

本で紹介

一、渋沢栄一は①尊王攘夷の志士の時代②一橋家の家来の時期③幕臣としフランスに渡った時期④明治政府の官僚の時期⑤実業人になった時期と異なる5つのステージを駆け抜けた。去年NHK大河ドラマ「青天を衝け」はこの「論語と算盤」の中の流れと一致していると思えます。日本経済新聞の広告では、渋沢栄一の代表作であり、論語(道徳)と算盤(利益を追求する経営活動)は利潤と道徳を調和させるという経済人がなすべき道を示した指針の書である等表現されています。

二、私が今一番はまっている出口治明(はるあき)氏です。1948年三重県生まれ。ライフネット生命保険株式会社創業者。立命館アジア太平洋大学(APU)学長。出口さんの著書は多数ですがその中で「私が読んだ主な著書」①働き方の教科書②人生を面白くする本物の

教養③還暦からの底力⑤自分の頭で考える日本の論点⑥座右の書「貞観政要」最後に、著書の中から一部ご紹介し終わりにします。「人生はプラスマイナスゼロではない。絶対値として考える」があります。例えば、編集後記に、失恋をして「マイナス500」悲しんでその後新しい恋人ができて「プラス500」

喜んだとします。私ならプラスマイナスゼロなんだと思ってしまうですが、出口さんは「絶対値1000」と解釈する人なんです。

南蒲公園の守り神
南蒲田一丁目自治会
大脇 多恵

南蒲公園の守り神

南蒲田一丁目自治会

大脇 多恵

南蒲公園は、花がいっぱいの公園だ。一年を通じて、色んな花が咲き、利用者たちを楽しませてくれている。

真夏の炎天下でも、枯れることなく、木々の葉っぱが落ちる秋にも落ち葉が散乱することなく、キレイに保たれているのは、世話をする人がいるからだ。その人は、ボランティアで、

二十年の長きに渡って公園に気を配ってきた。水をやりながら、水風船を作っては子供たちの相手をする。季節ごとの飾りつけも子供たちと楽しんでいる。御本人の希望で、名前は明かさないけれど、名物のおじさんで通っている。二十年もボランティアを続けて来られた訳は？と聞くと、「いやあ、バカじゃなきゃできないよ。」と顔をクシャクシャにして笑う。早くに亡くした長男に注げなかつた愛情は、今は地域の子供たちや花々に注がれている。



南蒲公園の花壇

蒲田の立地について

蒲田東口町会

赤沢 伸吾

私は蒲田で不動産の仕事をしています。蒲田という地域は非常に立地に恵まれています。交通の便で言いますと京浜東北線と京浜急行線、京急空港線、東急池上線、東急多摩川線と五つの線があり、都心に行くには三十分程度、横浜に行くのも三十分からず行けて、川崎は隣で

また、空の便では、羽田空港があり、そういった意味では、蒲田は日本屈指の交通に恵まれた地域です。お部屋探しのお客様にも、交通の便の良さをアピールしてきました。良く成約させていたいただいたのは京浜東北線と京浜急行線の間で建築されたアパートやマンションです。両線の駅から徒歩五分圏内となりますので、当然人気も高く他の地域と比べて家賃は高めです。蒲田の立地の良さをもっとアピールできれば成約件数も増え、人も集まり街全体の価値も上がって、更なる発展に繋がっていくと思っています。

自転車の安全運転について

東蒲田二丁目町会

小宮山 昌則

私の仕事はいわゆる「チャリンコ屋」で自転車のお医者さんでもあります。医者目で見ると持病を持っている患者が結構いて半年健診が必要と感じます。令和二年四月から自転車損害賠償責任保険加入が義務化されました。業界の点検整備付帯保険(TSマーク)をおすすめします。整備された自転車(ヘルメット、ミラー)で走る訳です。さらに私は悪い状況を予想した「かもしれない運転」をおすすめします。例えば、立ち止まっ

ていた人が急にあらぬ方向へ歩き出すことも、クルマのドアが突然開くこともありえます。後ろからのクルマも気にして間隔をとって通過することです。又出来れば右左折・停止等の手の合図をするとさらに安全に走れると思います。私はヘルメット・ミラー・光るテールライトを軽車両である自転車の必需品として努力義務化すべきであると考えます。交通法規を頭に入れ安全運転につとめたいものです。

おみくじ

蒲田五丁目南町会

鈴木 小弥太

年が明けると多くの人が神社仏閣に初詣へと出掛けます。そして大人から子供までが「おみくじ」を引いてその年の運を占む、一喜一憂します。科学万能の時代でも心のどこかで今年一年の運氣が気になる方が大勢いらっしゃるのも事実です。



蒲田八幡神社のおみくじ掛

我が町会においても毎年正月には役員一同で氏神様の蒲田八幡神社へ安全祈願のお祓いに詣ります。勿論帰りに「おみくじ」も欠かせません。人と言うものは勝手なもので「おみくじ」の結果が宜しければ「神様の占いだから間違いない」と喜び、悪しき結果であれば「たかがお遊びの占い事」などと一蹴してしまふ。

しかし、「おみくじ」と言う占いを気にしてしまう人の方が人間らしく思える気が致しますが、どうでしょうか。

突然の揺れ

東蒲田一丁目自治会

今野 洋子

十月七日午後十時四十一分、ガタガタガタ。やつと寝付いた頃、えくこれなにに？夢うつつ。ベットに腰掛け只ぼうつとしていました。揺れが静まり我に返ったとき、避難準備ができていないことに気づき、リュックを持ち出し準備開始。必要なものを書き出し始めたものなかなかうまくまとまりません。日頃のチェック、用意をしておくべきと反省の極みでした。テレビからは現状の報道が繰り返し返されていきなり。私の心配と恐怖は、もっと大きな揺れに襲われるのではないかと、というこ

とでした。しかし、どのチャンネルを廻しても私の願いは叶いません。そのとき、シニアクラブの仲間から「大丈夫？」の気遣いの電話。その一言にどんなに勇気づけられたことでしょうか。諺に「遠くの親戚より近くの他人」とありますが、正に地域の絆の大切さを実感しました。ありがとう。

ひとり時間を楽しく過ごす

蒲田本町二丁目町会

加賀屋 直

日中ひとりの時間が増え、以前から気になっていた糠漬け作りに挑戦しています。

糠床はインターネットのレシピを頼りに、友人が送ってくれた米の精米時にできる糠を炒り、塩と水、くず野菜を混ぜて作り

ましたが安定するまでは一月ほどかかりました。家内にはキュウリ、大根、キャベツのよく漬かったもの、息子にはセロリが好評です。変わったところでクレソンの軸。風味、歯応えがよく、これはおいしい発見でした。家族で漬物批評をするとは思ってもありませんでしたが、会話が和やかにになりました。

今年は何種行事が中止となり、地域の交流も希薄ですが、来年こそはお祭りができることを切に願っています。糠漬けをアテ

に、みんなで喉を鳴らしてビールが飲める日が待ち遠しいです。

強い地震発生について

蒲田二丁目自治会

服部 孝介

十月七日(令和三年)午後十時四十一分頃千葉県北西部を震源とするマグニチュード5.9の強い地震が発生し、大田区では震度5弱を記録した。この地震は十年ぶりの強い地震でした。震度5以上では、ガスが自動的に供給が止まりますが、今回はガスは止まらずでした。これは二年程前でしたが大田区では、ガス管、水道管の耐震化工事を実施した結果だと思いい、非常に良かったと思います。

元気を貰って

東蒲田一丁目町会

藤原せつ子

東蒲田に住んで四十五年になります。特にこの二年はコロナ禍で一切の地域行事は中止を余儀なくされました。思えば主人は神輿が大好きで、神輿の会を立ち上げて三十五年。会の人達と近隣の祭りに行っては神輿を担ぎ本当に楽しそうでした。三年前その主人がなくなり「しつかり生きる様に」と言われたのに何も出来ず情けなく思っていた私に町会長より民生委員のお

話を頂き、少しでも地域の役に立てるならとお受けしました。そして活動する中で町会、東蒲梅寿会の皆さんから元気を貰っていることに気が付きました。人と人が助け合う地域のつながりの大切さを学びました。主人の言葉を心に民生委員として地域の中で自分の出来る事をしていきます。



若き日の新次さん

世界のKAMATA

東蒲田二丁目南町会

塩野 賢一

世界には一生に一度は訪れた観光地が多く点在しています。その一方でメジャーな観光地ではなく、地域で地元の人たちが知恵を出し、工夫をこらして魅力的なプログラムを作ろうとする動きが徐々に表れてきております。社会が成熟し、非日常体験や文化交流、見栄えのよい写真を求める傾向が強まり、旅行の嗜好も多様化してきているのが理由のようです。

下町での一般町民による盆踊

り体験や、工場街の銭湯での体験がその一例で、そこに住んでいる人と同じ日常を体験することに意味が見いだされてます。そうした意味では、町内会での諸行事(餅つきなどの季節の催事、防災にむけた夜警、資源回収、消火訓練、町内清掃など)の日常の一コマも、他国から見れば『和の国ジャパン』の良さであり、そうした活動に携えることが誇りと感じています。

今後も町内活動を通じて『世界のKAMATA』の良さを内外に発信していきたいと思えます。

編集後記

「コロナ禍の中学生の今！」を作成するにあたり、地域力推進蒲田東地区委員会・小山会長に相談、蒲田東特別出張所の塚本所長には助言と両校への折衝に動いていただき両校の校長先生のご協力により生徒会の皆様に取材が出来ました。ご協力いただきました皆々様に感謝申し上げます。

両校の生徒会の皆様のハキハキとした態度におばさん記者も背中をピンとさせられました。どうぞ、素敵な地球人になってくださいとエールを贈ります。

山崎 礼子



蒲田二丁目東町会長

雲井 義信

かまた東五十八号で新町会長としてご紹介頂きました。前任東出正行会長から町会長を引き継ぐことになりました。東出さんは、町内会の発展にご尽力されて実績を残されました。それを引き継ぎ発展させて行く事が出来るのか不安もありましたが、役員皆様方の全面的な協力と東出さんが退任後も相談役として町内会の活動を支援して頂ける事を前提に引き受けました。そういう事で情報誌への投稿は、私にはまだ大いに語るほどの実績がないので困りました。



町会の目標とする「明るい住みやすい町会作り」活動をスタートしましたが、二回目の緊急事態宣言時に東京都から出されたコロナ感染防止啓発事業に参加した後、三回目(四月二十五日)、四回目(七月

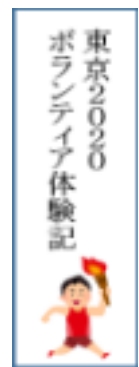
月十二日)九月三十日)と緊急事態宣言が発令されて町会の色々な活動が中止になりました。それに伴い住民の皆様との交流の場が持てない困った状態が続いています。



消防隊ポンプ操法訓練に参加

十月一日に緊急事態宣言等が全て解除になりましたので消防隊ポンプ操法訓練、防犯夜間パトロール等一部の活動を再開しましたが、普通に安心できる日常を取り戻せたわけではありません。一日も早いコロナの終息を願っています。

町会の運営は、住民皆様の自主性が大切だと思います。安心して暮らせるための防犯から、いざというときのための防災対策を始めとして、町会の皆様との交流を尊重し、区役所にもご協力を頂いてより一層、暮らしやすく楽しい街づくりを進めてまいります。



京浜蒲田町会

加藤 郁夫

2020年3月、WHOがパデミックと宣言した時点でオリンピック・パラリンピックは中止と思いました。その後、IOCが東京五輪の1年延期を発表したので「まだやれるぞ!」と希望を持ったことを思い出します。ただ、時間の経過と共にコロナ禍で困難な状況にある人が増え「オリンピックなんてやって欲しくない。」と言う声を良く聞きました。人間関係が壊れそうで沈黙せざるを得ない自分の弱さとコロナ禍による人の分断の怖さを痛感しました。

オンライン研修や感染対策を徹底した集合研修にモチベーションを支えられ、やっと迎えた大会は無観客でした。観客の案内



大田総合体育館のリレー走者像



羽田空港での選手見送り

役であるシテイクヤストの活動は無くなりました。それでも何かできるはずと思っていたところにシテイクヤスト運営事務局から応援メッセージの投稿依頼があり、聖火リレーが訪れるはずだったリレー走者像の写真を投稿しました。ほどなく追加活動の募集が始まり、抽選によって展示会場での熱中症対策呼び掛け、羽田空港での選手の送り迎え等ボランティアのユニフォームを着て活動できる機会が用意されました。私は羽田空港とお台場で計3回の活動をする事が出来ました。

オリンピック、パラリンピックは平和の種(たね)だと思います。そういう大切な選手を迎え入れ、大会を実施し、帰国を見送る。わずかな時間でもそこに関わったのは、日本のボランティアの一員として責任を果たした感動がありました。これからも様々なボランティア活動に協力したいと思えます。

編集委員紹介

- 編集委員長 蒲田三丁目町会 山崎礼子
- 副編集委員長 蒲田一丁目自治会 杉山敬次郎
- 編集委員
 - 東蒲田一丁目自治会 田村和夫
 - 東蒲田二丁目町会 阿相祐太郎
 - 南蒲田一丁目自治会 大脇多恵
 - 蒲田二丁目自治会 服部孝介
 - 蒲田東口町会 上澤功夫
 - 東蒲田一丁目町会 笠原信子
 - 蒲田五丁目南町会 佐藤慎一郎
 - 南蒲田三丁目町会 岡本愛
 - 蒲田本町一丁目町会 石井正夫
 - 南蒲田二丁目町内会 高田和男
 - 蒲田四丁目町会 小倉孝子
 - 蒲田二丁目東町会 鴨井從雄
 - 蒲田公団自治会 岡崎幸夫
 - 東蒲田二丁目南町会 塩野賢一
 - 蒲田本町二丁目町会 遠藤末子
 - 京浜蒲田町会 加藤郁夫
 - 本蒲田一丁目町会 中台陽一郎



令和3年11月26日編集会議での写真

協力：国際交流員 ベサニー・カミングス、蒲田中学校、東蒲中学校 (一面「コロナ禍の中学生の今!~国際交流員との対話~」)